

町内交通・循環バスの推進について

今回町は高齢者の外出支援に限って、「30人の会員制」で実証試験を始めようとしています。しかし、町内の移動支援は高齢者の移動支援だけではありません。こども達の登下校時の安全確保や買い物支援なども重要であり、最も効果的な方法として町内循環バスがある。宮崎県の三股町など先進事例もあるではないか。なぜ検討しないのかと質しました。

動き出したことは評価します。しかし、利用できる対象者が「要支援者」に限られ効果は薄いのではないかと。何度も紹介してきた「循環バス」は、なぜ検討しないのか。改めてお聞きしたい。この先の展望はあるのか説明を求めます。

町長 コロナの下で高齢者たちが外出できない、病院にも行けない、身体的機能（フレイル）などの低下が起きる事が懸念される。そうした中でまずフレイル予防と言う事で試験的にモニターとして30名で展開していくこととしている。児童や普通の高齢者などについても発展はできていくと思います。今後どうするかは検討させていただきます。

質問 今回の実証試験に

3月議会に続いて、保育所給食費（副食費）の無償化について質問しました。

質問 佐世保市・平戸市・松浦市・西海市などが無償

保育所給食（副食費）の無償化を求める

3月議会に続いて、保育

所給食費（副食費）の無償

佐世保市・平戸市・松浦市・西海市などが無償



化を行っている中で、佐々町だけどうしてしないのか質問しましたが、その後の検討状況についてお答え下さい。

町長 完全無償化を行っているところが県内で8市2町ある。県内で年少人口の比率が低いところで実施されている。佐々町は年少人口が一番高く、現時点で

は副食費の無償化はなかなか厳しいのではないかと思っております。

質問 こども達の親の世代では非正規労働者が4割に達しています。実際に1985年の可処分所得よりいまの可処分所得が低い、その上に消費税の引き上げ、さらにコロナ下での収入減少という困難がある。せめて子育て支援のために町ができる手立てとして副食費の4500円は無償にすることを求める。

町長 低所得層とか1人親世帯においては、検討させていただきます。

国保税の減免について

コロナの下で国保税の減免が可能となつています。今回の一般質問の中で9月10日時点で減免実績が15人、340万4400円となつていることが報告されました。

サラリーマンを含めて、国保世帯では収入の減少がある世帯への減免が受けられます。減免分は還付されます。お気軽におたずね下さい。

2019年度（令和元年度）会計の決算審査

国保会計の決算認定に反対

毎年9月議会では前年度決算について、議会として決算審査が行われています。今回は2019年度（令和元年度）決算について、審議が行われました。日本共産党の永田かつみ町会議員は、一般会計につ

いては消費税引き上げに便乗した公共施設料金引き上げなど重大な問題点もありますが、小中学校のトイレ洋式化改修などの前進面を評価して、認定に賛成しました。

別会計については、再三要求してきた国保税の均等割課税の改善がまったく検討もされておらず、一方で県単位化に伴う国保財政の悪化が進んでいる事を問題として認定に反対しました。

一緒にお届けしている

町民アンケートにご協力下さい

佐々町会議員 永田かつみ



前回の町会議員選挙から3年半近くが経過しました。みなさまのご支援とご協力で町会議員としての活動を続けてきています。

学校のトイレの洋式化・高校卒業までの子ども医療費の無償化と現物給付実現・不十分ながら介護保険料や国保税の引き下げなど、みなさまから寄せられた要求を実現してきました。

今後の活動に生かしていきたいと考えておりますので、アンケートに多くのお力をください。